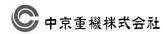
記録表発行日	2019年 4月 18日	後 印 米
注番	K - 1532	H

クローラーダンプ CJ受入34項目検品表



■ 465-0057 愛知県名古屋市名東区陸前町1705 サービス部 フィールドサービスグループ TEL: 052-701-5191 / Fax: 052-701-5193

様 (水) () (,) (,) (,)
備考一損傷
一損傷
一損傷
Mpa
Mpa
L/min
-ラント濃度 10 %
7 7
<u> </u>
E 約 27.8 V(ボルト)
. 115 2716 7 (4177)
_
E
Ē
Ε
Ε
3
3
3
3

区分	No.	検 査 箇 所	検査	 内 容	検査方法	評価	備	考		
	24	座席(調整機構、座面、背もたれ)	座席調整、ロック作動、	取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C D E	シートベルト	無し		
	25	昇降設備	亀裂、損傷、変形、取 位	寸ガタ	目視	A B C D E				
#	26	灯火装置、警報器、方向指示器、ワイパー	作動状態、取付ガタ、レ	レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A BCD E				
安全装	27	計器類	作動状態、取付ガタ、レ	レンズ破損	目視 or 操作	A B C D E				
装置	28	セキュリティ [有 ・ 無]	イモビライザー、電子Key、	隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有無				
-	29	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損		目 視	A B C D E				
車 体	30	給油脂	給油脂状態、自動給脂	接置作動	目視 or 操作	A B C D E				
関係	31	キャビン(ガラス)	亀裂、変形、腐食、雨源 キー作動、ガラスのガタ		目視 or 操作	A B C D E		_		
等	32	レバー、ペダル	効き、操作、変形、損傷	景、はずれ	目視 of 操作	A B C D E				
	33	旋回減速機	異音、異常発熱、油量	、汚れ、油漏れ、取付ガタ	目視 or 聴診 or 触診 or 操作	A B C D E		-		
	34	旋回ベアリング	引っ掛かり、異音、ギアれ	ア異音、シール損傷、油漏	目視 or 操作 or 聴診	ABCDE		_		
実機機械	状態から	。 具体的な検査結果報告(特記事項が		を記載の事	L	<u> </u>	I			
No. 1	・エアー	クリーナー外カバー曲がり有り								
No. 2	•要交換	F								
No. 3	・燃料エ	シント漏れ								
No. 4										
No. 5	・ラジエ	ター及びオイルクーラーコア汚れ	有り 要清掃							
No. 6										
No. 7										
No. 8										
No. 9										
No.10	•下部口	ーラー若干摩耗有り								
No.11										
No.12	・ポンプ	付近オイルにじみ								
No.13										
		ルヒンジ曲がり有り								
		ル底板波うち有り								
No.16	・クラック	72ヶ所								
No.17										
	•作動泪	由量不足 要補充								
No.19										
No.20										
No.21										
No.22										
No.23	-3,_1	ベルト無し								
No.24 No.25	・シート	ベルト無し								
No.26 No.27										
No.28										
No.29										
No.30										
No.31										
No.32										
	No.33									
No.34										
1. 検査方法欄に実施した内容を○で囲み、5段階評価の中で該当する程度・状態を○で囲む。2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。										
押 走			ノ談ヨ番芳懶へ具体的7		速による証体の担合け	04左参照)				
概要評価基準 A:新品に近く非常に良好な状態の場合			個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照) A:新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%							
R· 廢耗・損傷が小かく自なか状態の場合			B. 藤託・							

- B:摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合
- C:稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合
- D:稼働はするが修理が必要な状態の場合
- E:即修理をしないと稼働しない状態の場合

- B:摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%
- C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%
- D:稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%
- E:即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%